

01. 「物差し」としての建築
 「場所性」の強い敷地における
 建築の関わり方、在り方
 ↓
 場所の個性を浮かび上がらせる
 「物差し」としての建築の在り方



03. 丘を測る—地形（変数）と建築（定数）の対比により、地形の高さを浮かび上がらせる—
 高低差のある地形に水平線を引く、変数としての地形と定数としての建築の対比により地形の高さを顕明に浮かび上がらせる。人は空間体験を通して、大地の営みが創造した丘の動きを顕明に体験する。

04. 火山灰の丘—建築が丘の「体」を見せる—
 丘陵の地形の高さは正確な数値で表すことができない。この丘陵の形を表現する最も適切な方法は、その地形の断面を写し出すことである。火山灰の丘は、約200万年前の噴火によって形成された巨大な火山灰の丘である。この丘陵の断面を写し出すことで、その地形の動きを顕明に体験する。

